表す 感じる

かほく防災記者 リポート

仙台・荒浜と名取・閖上の津波被災地視察　当時の暮らしに思いはせる

東日本大震災の教訓や災害への備えを学び、発信するかほく防災記者の中学・高校生３人が９月14日、大学生らを対象に河北新報社などが開く通年講座「311『伝える／備える』次世代塾」の被災地視察に参加し、仙台市若林区荒浜と宮城県名取市閖上を訪れ、被災者たちに話を聞いた。

若林区の震災遺構荒浜小では、津波の痕跡が残る校舎を見学。同地区は震災前、2200人が暮らしていたが、津波でほとんどの住宅が流され、約200人が犠牲になった。

講話をした震災当時荒浜小１年だった庄子さくらさん(21)＝宮城教育大３年＝は「あまり荒浜を変えてほしくない。私たちが住んでいた証しを残してほしい」と、古里に寄せる思いを明かした。

荒浜地区住宅基礎、震災慰霊碑にも足を運び、かつての暮らしに思いを巡らせた。

一行は、住民約6000人のうち、津波で約750人が亡くなった名取市閖上地区に移動。名取トレイルセンターで、津波で自宅を失った閖上中央町内会会長の長沼俊幸さん(62)に、生活再建の苦労を聞いた。

２カ月過ごした避難所では、プライバシーや不衛生なトイレといった課題に直面。「ストレスがかかり、最後は精神的に限界に近かった」と振り返った。仮設住宅のさまざまな制約、住宅再建にのしかかる経済的な負担も説明した。

震災遺構荒浜小では、震災伝承に取り組む団体「ホープ・フォー・プロジェクト」の高山智行さん（41）の話も聞いた

避難生活の苦労を想像

震災遺構荒浜小の正面は一見、きれいに見えた。校舎脇に回ると2階のコンクリート壁が崩れ、津波の威力を実感した。閖上の長沼さんは「避難所生活はとてもストレスがかかった」と振り返った。段ボールが仕切りとなり、プライバシーの確保に役立つことも知った。生の声を聞き、避難所生活の苦労を想像した。

（仙台市岩切中３年　小野拓馬さん　15歳）

荒浜、悲しい場所でない

３年ぶりに震災遺構荒浜小を訪れた。改めて被害の大きさを知るとともに、校舎は震災の風化を防ぐためだけでなく、訪れた人に震災前の荒浜を知ってもらったり、地域住民が昔を思い出したりするためにも必要だという発見があった。「荒浜を悲しい場所と思ってほしくない」との庄子さんの言葉が印象に残った。

（仙台市七北田中２年　高橋彩葵さん　14歳）

普段から工夫し解決を

荒浜の住宅基礎近くの慰霊碑には震災で亡くなった人たち名前が刻まれていた。自分の命を守るだけでなく、ほかの人の命も守れるような行動をしなければならないと感じた。閖上では長沼さんから、段ボールなどを使い避難生活の大変さを軽減した話を聞いた。普段から問題が起きたら、工夫して解決を図りたい。

（仙台青陵中等教育学校５年　高橋杏奈さん　17歳）

学力UP↑のカギは国語力!!

河北新報のコラム「河北春秋」を活用した学習法をご紹介。ベテラン記者が執筆した文章を読むことで、豊かな言葉や表現が身につきます。また旬の話題や時事問題にも強くなります。

新聞を活用して差をつけよう！

河北春秋 3ステップ

STEP1 基礎力アップ
書き写す
「河北春秋」の文字数は約500字。書き写すことで、**作文力**や**読解力**、**漢字力**といった**「国語力」が向上**します。また、分からない単語を調べると**語彙力もアップ**します。

STEP2 論説文対策
100字で要約する
「河北春秋」の要約は**論説文対策**にピッタリ。読み解いて分かりやすく伝える文章の練習になります。

STEP3 小説問題対策
自分の意見や感想を書く
自分の考えを**50字以内**で書きましょう。小説問題は文章の行間を読み、自分の考えを制限字数内で簡潔にまとめる練習が役立ちます。

「河北春秋」はここ！

チョイ読みで時事力UP↑
入試では、新聞記事を使った出題が増加傾向。新聞をめくり「見出しだけ」チェックしましょう。世の中の動きを効率よく知ることができます。

まずは1週間お試しください
ご希望の方に、「河北春秋書き写し1週間お試し版」をお届けします。また、河北新報をお読みでない場合は、新聞も1週間お届けします。右の二次元コードよりお申し込みください。

●ご購読のお申し込みは…
フリーダイヤル 0120-09-3746（オーク ミナヨム）受付／7:00～19:00

お問い合わせ／河北新報社　販売部（平日10:00～17:00）
TEL.022-211-1302　FAX.022-211-1188
※お申込みいただきました個人情報は、弊社と河北新報販売店で適切に管理し、商品の発送、各種ご連絡・ご案内に利用させていただきます。河北新報社のプライバシーポリシー（個人情報保護方針）https://np.kahoku.co.jp/privacy.htmlをご確認ください。